



生きものの“つぶやき”：  
**「誰が私を片付けるの？」**

エッセイ：

まだ残暑が厳しい日の午前。ふと窓の外を見てみると何やら虫が一匹。地下水生生物に頭を魅了されてしまっている私はその美しい純白に「なんだ…ミズムシみたいなのがいるな…」と思ってしまった。しかしまじまじとそれを見ていると動かない。その美しさに魅了され私はカメラを片手にしていた。

「抜け殻!？」家に帰って情報を集めに集めた私は驚いた。これは他でもないカゲロウの抜け殻だったのだ。カゲロウといえば成虫でいられる期間が短い生物として知られている。そして私はカゲロウについて知らぬ間に思慮を深めていた。そして私は彼らを人生であまり見たことがないことに気がついた。

「誰が私を片付けるの？」

自然界でどのように生物の生きた証は消えゆくのか。勿論私たちは風雨にさらされて土に還るのが自然界の摂理であることを知っているが、その短い人生の中で果たして彼らはそんなことを知ることがあるだろうか。一瞬の儂い虫生の中で生まれる生きた証はそんなことを私たちに純粋な心で聞いてきているのではないかと私は思うのである。(441字)

### 生きものの紹介:

カゲロウの抜け殻。詳しく採取して調べることができなかつたため詳細は不明だが、特徴を考慮するとカゲロウ目コカゲロウ科フタバコカゲロウ属に属するフタバコカゲロウであると考えられる。日本に生息する止水性カゲロウの代表種である。体長は 10mm ほど。

### 撮影場所・日時:

愛知県愛西市 2024 年 9 月 21 日

### 応募者の自己紹介:

1. 氏名：上屋 遼真
2. 高校・学年：清林館高校・1 年
3. 所属：特になし

### 審査員からのコメント:

カゲロウの抜け殻から、自然界での生死に思いを寄せるところが素敵だなと思いました。

カゲロウがこんなに美しいとは知りませんでした。